

仙台市の品質確保に向けた取り組みについて

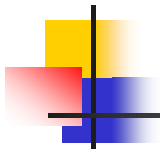
仙台市都市整備局
技術管理室長 小幡 勝雄

目 次

1. 本市の入札・契約制度について
2. 総合評価方式について
3. 低入札対策について
4. まとめ

仙台市の品質確保に向けた 取り組みについて

仙台市都市整備局技術管理室
平成24年10月



目 次

- I 本市の入札・契約制度について
- II 総合評価方式について
- III 低入札対策について
- IV まとめ

I 本市の入札・契約制度について

予定価格	入札方式	概要
19.4億円以上	特例政令適用一般競争入札(WTO) (総合評価一般競争入札)	○地域を限定する要件は除いて条件を付す。 ・総合評定値, ・施工実績, etc.
5千万円以上	制限付き一般競争入札 (総合評価一般競争入札)	○不良・不適格な企業の参入を防ぐため ・地域要件, ・格付点数, ・施工実績, 等の入札参加条件を付す。 ○工事予定価格5,000万円以上の工事は原則総合評価 一般競争入札方式を適用
1千万円以上	制限付き一般競争入札	
100万円以上	指名競争入札	○予定価格100万円以上1千万円未満の工事の入札に適用

3

II 総合評価方式について

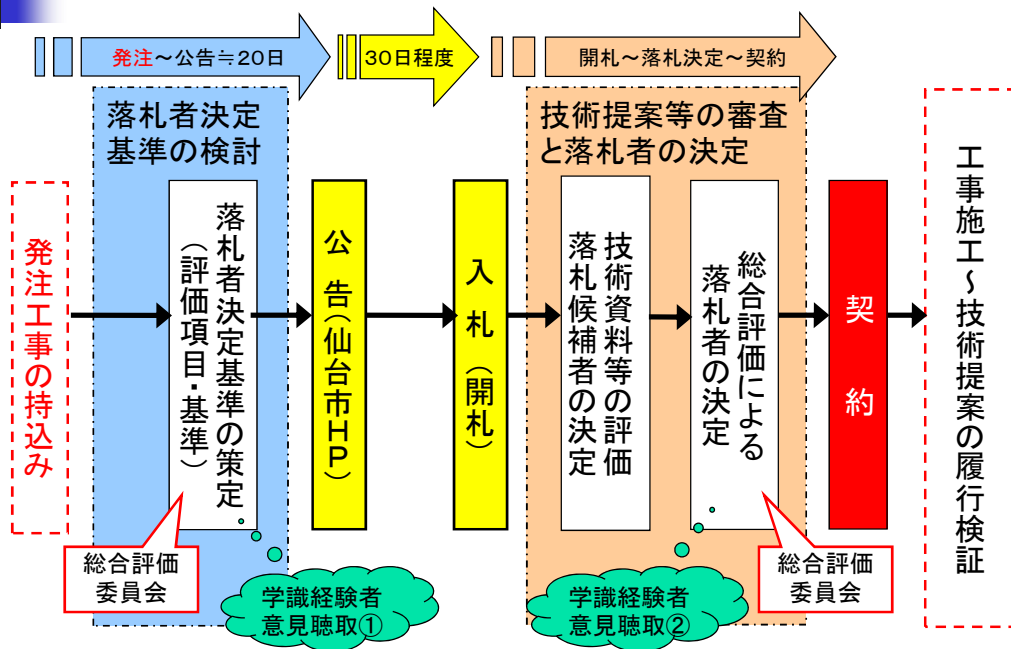
- 仙台市が発注する建設工事において、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素(企業の技術力, 施工能力, 社会性, 地域貢献等)も考慮し、**価格及び品質が総合的に優れた者を契約の相手方とするもの**

…H19～H20試行 → H21から本格実施

- 仙台市争入札試行要綱で規定
(契約課, H6.6.6市長決裁)
- 仙台市発注工事における総合評価一般競争入札の手引き
(技術管理室, H22.5.1以降適用)

4

総合評価方式の流れ



5

事務フロー

- 契約担当課持込みから契約までの平均的な期間

方式	形態	
	単体工事	JV工事
簡易型Ⅰ型	58日	78日
簡易型Ⅱ型	64日	84日
標準型	74日	94日
備考	発注工事の内容, 規模, 適用方式等により前後する場合あり。	

6

評価値の算定

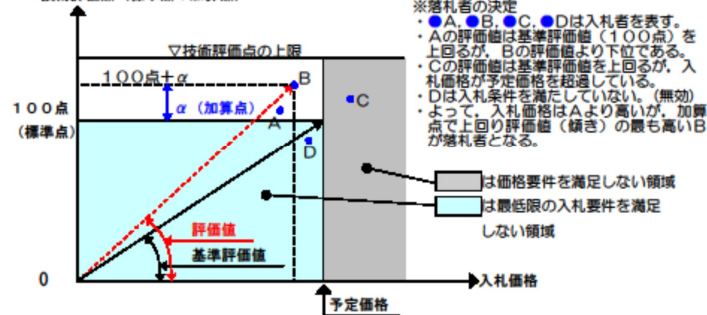
■ 除算方式

評価値 = (標準点 + 加算点) / 入札価格

標準点 = 100点

加算点 = 23点 ~ 50点

入札価格、技術評価点及び評価値の関係
技術評価点 (標準点 + 加算点)



7

総合評価方式の選択

簡易型Ⅰ型(市町村向け特別簡易型と同等)

- 技術的工夫の余地が小さい一般的な工事を対象に、発注者が示す仕様に基づき、適切かつ確実な施工を行う能力を求める場合に適用する

簡易型Ⅱ型(国・県の簡易型と同等)

- 技術的工夫の余地は小さいが施工上配慮すべき事項や課題等のある工事を対象に、発注者が示す仕様に基づき、適切かつ確実な施工を行う能力を求める場合に適用する (簡易型Ⅰ型 + 簡易な施工計画)

標準型

- 技術的な工夫の余地が大きい工事を対象に、発注者が示す標準案に対し、社会的な要請や特定の課題についての技術提案を求め、工事の品質をより高めることを期待する場合に適用する

8

平成24年度見直し内容

年度 項目	平成24年4月まで			平成24年5月以降		
入札方式	制限付き一般競争入札 (特例政令一般競争入札含む)			制限付き一般競争入札 (特例政令一般競争入札含む)		
対象工事 予定価格	予定価格5,000万円以上すべて			予定価格5,000万円以上すべて		
その他 要件	※5,000万円未満の工事については、対象工事を選定し実施する。			※5,000万円未満の工事については、対象工事を選定し実施する。		
総合評価 の方式	簡易型 I型	簡易型 II型	標準型	簡易型 I型	簡易型 II型	標準型
加算点 の配点	20点	30点	40点, 50点	23点	33点	43点, 50点
評価項目 の追加	—			震災における緊急工事等の実績: 2点 震災による「被災者等」の雇用: 1点		

9

総合評価の評価項目(1/3)

○企業及び配置予定技術者の評価

- ・本市の工事成績評定点の平均点
- ・同種工事の施工実績
- ・本市の優良建設工事表彰歴
- ・不誠実な行為又は労働災害等(減点項目)
- ・品質管理ISO9001システムの認証取得
- ・継続教育(CPD)の取り組み状況



総合評価の評価項目(2/3)

○企業の労働福祉, 社会性, 地域貢献

- ・建設業退職金共済制度等の加入状況
- ・企業年金制度の加入状況
- ・障害者の雇用促進状況
- ・環境管理システムの認証取得状況
- ・市内企業の活用計画割合
- ・下請負の地元発注推進企業顕彰歴
- ・地域貢献活動, ・防災に関する応援協定締結実績,
- ・緊急工事登録等への取組実績
- ・困難業務等の従事実績

11



総合評価の評価項目(3/3)

○簡易な施工計画(簡易型Ⅱ型)

施工上特に配慮が必要となる条件や課題について技術的所見1~2テーマ設定

○企業の高度な技術力の評価(標準型)

- 1) 技術提案
- 2) 技術提案に基づく施工計画
- 3) 配置予定技術者の評価

○東日本大震災への対応(H24追加)

- ・緊急工事等への従事実績
- ・被災者等の雇用実績

12

落札者決定基準(共通評価項目例)

◇簡易型Ⅱ型〔簡易な施工計画…1項目〕

評価視点	評価項目	加算点配点	評点配点	得点	加重度	評点	評価点	評価点計
簡易な施工計画	〇〇〇に関する技術的所見	10	6	6	1	6	10.000	10.00
企業の評価	ア 過去5ヶ年度における工事成績評定点(平均点)	10	6	3	2	6	6.000	10.00
	イ 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績		1	1	1	1	1.000	
	ウ 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事表彰歴		2	1	2	2	2.000	
	エ 過去2ヶ年における不誠実な行為又は労働災害等		0	0	1	0	0.000	
	オ 品質管理システムの認証取得状況		1	1	1	1	1.000	
配置予定技術者の評価	カ 過去10ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績	4	2	1	2	2	0.800	4.00
	キ 過去5ヶ年度及び現年度における同種工事の施工実績(平均点)		6	3	2	6	2.400	
	ク 過去5ヶ年度及び現年度における仙台市優良建設工事技術者表彰歴		1	1	1	1	0.400	
	ケ 関連資格の保有状況(又は継続教育(CPD)の取組み状況)		1	1	1	1	0.400	
企業の労働福祉・社会性・地域貢献	コ 建設業退職金共済制度等の加入状況	6.000	0.5	0.5	1	0.5	0.273	6.00
	サ 企業年金制度の加入状況		0.5	0.5	1	0.5	0.273	
	シ 障害者の雇用促進状況		2	2	1	2	1.091	
	ス 環境管理システムの認証取得等の状況		1	1	1	1	0.545	
	セ 市内企業の活用計画割合		1	1	1	1	0.545	
	ソ 過去5ヶ年度及び現年度における下請負の地元発注推進企業顕彰歴		2	1	2	2	1.091	
	タ 過去2ヶ年度及び現年度における地域貢献活動等の実績		1	1	1	1	0.545	
	チ 防災に関する応援協定等の締結実績		1	1	1	1	0.545	
	ツ 緊急工事登録等への取組み実績		1	1	1	1	0.545	
	テ 過去2ヶ年度における困難業務等の従事実績		1	1	1	1	0.545	
企業の東日本大震災対応	ト 東日本大震災における緊急工事等の従事実績	3	2	2	1	2	2.000	3.00
	チ 東日本大震災による「被災者等」の雇用実績		1	1	1	1	1.000	
			3					
		33.000				加算点	33.00	

13

審査方法

■ 入札前資格確認型(事前審査)

H19-20の試行段階では入札者全員について入札参加資格及び総合評価に関する技術資料等について事前審査を実施。

→**審査に非常に多くの時間を要する。**

■ 入札後資格確認型(事後審査)

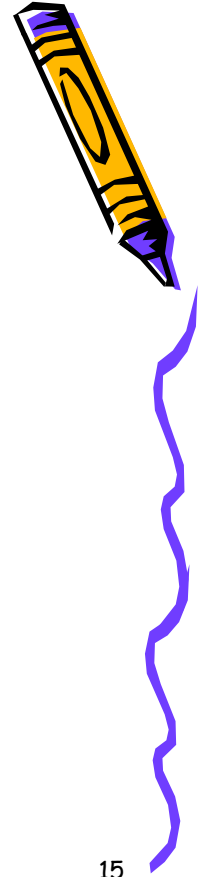
H21以降は開札後に落札候補者1社のみについて入札参加資格及び総合評価に関する技術資料等について事後審査を実施。

これに伴い、入札参加者は、入札公告に示す評価項目について、自社の保有する実績等の内容を、「**評価値申告書**」により申告する。

14

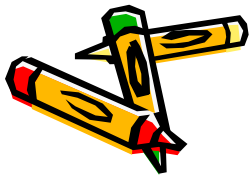
評価値申告書

評価値
申告書



1. 評価項目		加算 点 配点	評 点 配点	申 告 内 容	得 点	加 速 度	評 点	評 価 点	評 価 点 計
企業の 評価	ア 過去5ヶ年度における工事成績評定点 (平均点)	6	6	80点	3	2	6	6.000	6.00
	イ 過去10ヶ年度及び現年度における 同種工事の施工実績	4	1	施工実績あり	1	1	1	1.000	4.00
	ウ 過去5ヶ年度及び現年度における 仙台市優良建設工事表彰歴		2	表彰歴あり	1	2	2.000		
	エ 過去2ヶ年における 不始末な行為又は労働災害等		0	なし	0	1	0.000		
	オ 品質管理システムの認証取得状況		1	認証取得あり	1	1	1.000		
配置予定 技術者 の評価	カ 過去10ヶ年度及び現年度における 同種工事の施工実績	4	2	施工実績あり	1	2	2	0.800	4.00
	キ 過去5ヶ年度における工事成績評定点 (平均点)		6	80点	3	2	6	2.400	
	ク 過去5ヶ年度及び現年度における 仙台市優良建設工事技術者表彰歴		1	表彰歴あり	1	1	1	0.400	
	ケ 継続教育(CPD)の取組状況		1	推奨単位以上の取得 単位あり	1.00	1	1	0.400	
	コ 建設業退職金共済制度等の加入状況	0.5	加入している	0.5	1	0.5	0.273		
企業の 労働福祉	サ 企業年金制度の加入状況	0.5	加入している	0.5	1	0.5	0.273		
シ 障害者の雇用促進状況	2	法定雇用率以上	2	1	2	1.091			
企業の 社会性	ス 環境管理システムの認証取得等の状況	1	認証取得等あり	1	1	1	0.545		
企業の 地域貢献	セ 市内企業の活用計画割合	1	80%以上	1	1	1	0.545		
	ソ 過去9ヶ年度及び現年度における 下請負における地元発注推進企業顕彰歴	6	2	顕彰歴あり	1	2	2	1.091	
	タ 過去2ヶ年度及び現年度における 地域貢献活動等の実績		1	複数実績あり	1	1	1	0.545	
	チ 防災に関する応援協定等の締結実績		1	協定締結あり	1	1	1	0.545	
	ツ 緊急工事登録等への取組み実績		1	複数登録等あり	1	1	1	0.545	
	テ 過去2ヶ年度における 困難業務の従事実績		1	複数実績あり	1	1	1	0.545	
ト 東日本大震災における緊急工事等の従事実績	3		2	6件以上の実績あり	2	1	2	2.000	
チ 東日本大震災による「被災者等」の雇用実績		1	雇用あり	1	1	1	1.000		
加算点 (①)		23							

2. 入札価格 ② ¥ 123,456,000 (消費税抜き)
 3. 評価値の計算 評価値 = $\frac{\text{標準点} + \text{加算点}(\text{①})}{100} \times \frac{\text{入札価格}(\text{②})}{123,456,000} = 0.99630$
※評価値は、入札価格を百万で除したもので計算し、小数点以下第6位を切り捨てとします。



落札者の決定

■ 落札者の決定

提出された「評価値申告書」の**評価値の最も高いものを落札候補者**とする。

次に、落札候補者の入札参加資格の有無及び評価値申告書に関する**技術資料等**を提出させ、審査の上、評価値が**適当である場合は、落札者として決定**する。



総合評価に関する審議機関

■ 総合評価委員会(月2回程度開催)

- ①落札者決定基準の策定
- ②技術提案等を求める範囲
- ③技術提案等の内容審査, 採否
- ④落札者の決定



※総合評価委員会は、委員長、副委員長及び委員10人以内をもって組織する。

17

学識経験者の意見聴取

- 地方自治法施行令(第167条の10の2)の規定に基づき、次の各段階において、あらかじめ2名以上の学識経験を有する者から意見を聴かなければなりません

- ①落札者決定基準を定めるとき
- ②落札者を決定するとき

(①時に「意見聴取が必要である」との意見があった場合)

18

評価結果の公表

- 総合評価の審査結果
 - ・落札通知書→落札者へ
- 総合評価の結果の公表(契約締結後)
 - ①入札者名
 - ②入札者の入札金額
 - ③入札者の評価値
 - ④落札者名



19

H21からH23までの実施状況

仙台市の総合評価一般競争入札の実施状況（H21～H23）

年度	H21			H22			H23		
	実施件数	逆転件数	逆転率	実施件数	逆転件数	逆転率	実施件数	逆転件数	逆転率
対象工事	・5千万円以上はすべて (但し、災害復旧工事は除外) ・5千万円未満は試行			・5千万円以上はすべて (但し、災害復旧工事は除外) ・5千万円未満は選定実施			・5千万円以上はすべて (但し、災害復旧工事は除外) ・5千万円未満は選定実施		
実施件数(全体)	151	65	43%	105	51	49%	32	3	9%
簡易型Ⅰ型	130	56	43%	78	45	58%	31	3	10%
簡易型Ⅱ型	20	9	45%	27	9	33%	1	0	0%
標準型	1			0			1		

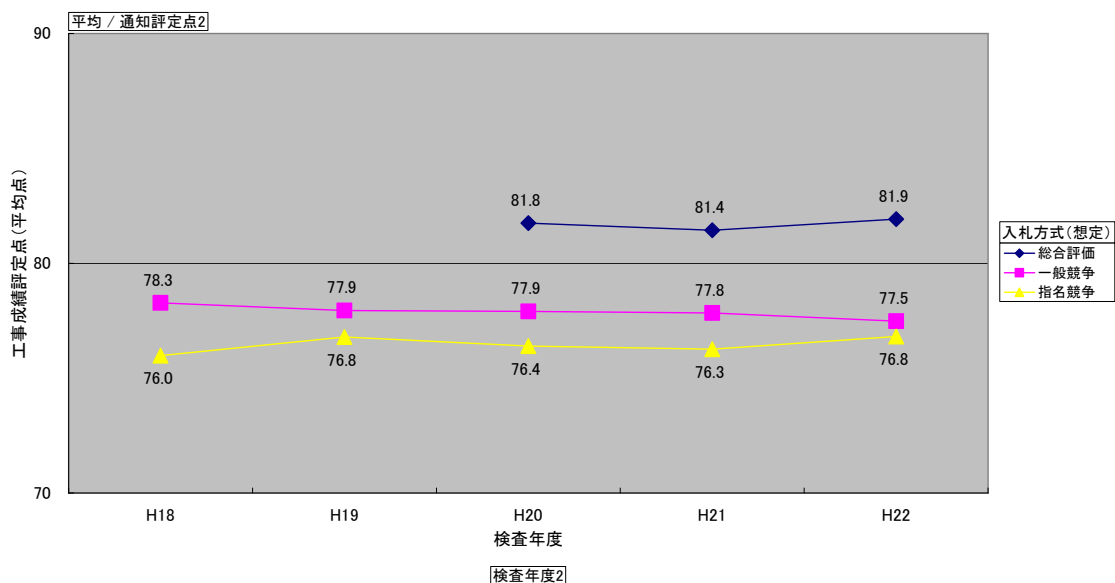
20

総合評価の効果

- H20からH22までの総合評価一般競争入札方式により落札決定した工事の工事成績評定点と他の入札方式により落札決定した工事の工事成績法定点を比較してみると、工事成績評定点は、他の入札方式により落札決定したものより高く、各年度とも平均点は80点を超えている。

総合評価の効果

(H18-22)入札方式別 工事成績評定点の状況



Ⅲ 低入札対策について(工事)

(1) 予定価格500万円以上5億円未満

- ・低入札価格調査なし
- 総額判断基準価格→失格規準

(2) 予定価格5億円以上19億4千万未満

- ・低入札価格調査あり
- 調査規準価格→失格規準価格

(3) 予定価格19億4千万以上(WTO適用案件)

- ・失格規準価格の代え特別重点調査適用額を設定

23

Ⅲ 仙台市の低入札対策

予定価格	入札方式	低入札等規準	失格等判断基準		低入札調査種別
19.4億円以上	特例政令適用一般競争入札(WTO)	調査基準価格 =純工事費×0.9+ 現場管理費×0.7+ 一般管理費×0.5	※調査基準価格を下回った入札に適用	○特別重点調査適用基準額 ・純工事費×0.85 ・現場管理費×0.65 ・一般管理費×0.45 いずれかを下回った入札 →「特別重点調査」	低入札価格調査 特別重点調査
5億円以上	(制限付き) 一般競争入札		※調査基準価格を下回った入札に適用	○特別重点調査適用基準額 ・純工事費×0.85 ・現場管理費×0.65 ・一般管理費×0.45 いずれかを下回った入札 →「失格」	低入札価格調査
1千万円以上	指名競争入札	適用対象外	※総額判断基準価格を下回った入札に適用	○失格基準価格 ・純工事費×0.90 ・現場管理費×0.90 ・一般管理費×0.70 いずれかを下回った入札 →「失格」	適用対象外
500万円以上			○総額判断基準価格 ・純工事費×0.95 ・現場管理費×0.95 ・一般管理費×0.75		

24

IV まとめ



- ・入札制度→ 5000万円以上の工事は、原則的に総合評価を適用
- ・総合評価→ 効果: 工事成績評定点はアップ
問題: 事務量の増加,
課題: 事務の効率化, 人員の確保
- ・低入札対策→ 5億円未満の工事では総額判断基準を適用。
失格基準価格を下回ると即「失格」